

\~15~

PAT-NO: JP358192169A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58192169 A  
TITLE: AUTOMATIC TRANSACTION DEVICE  
PUBN-DATE: November 9, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
FUKATSU, KUNIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
TOSHIBA CORP N/A

APPL-NO: JP57075846

APPL-DATE: May 6, 1982

INT-CL (IPC): G06F015/30, G07D009/00

US-CL-CURRENT: 235/379

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain an automatic transaction device having a high safety, by stopping the operation of a shutter or reversing it with the detection of overload of a shutter driving force at the closing of the shutter.

CONSTITUTION: An automatic depositing and dispensing device 1 as a cash automatic transaction device has a customer service section 3 opened to an outer wall 2 of a building, and an operating mechanism for transaction such as a keyboard 6 and a display 7 is arranged in the said customer service section 3. The customer service section 3 is provided with a curved-surface shutter 15 for burglar-proof, weather and dust-proof, freely opening and closing covering the operating mechanism. The shutter 15 is held with a roll pair 192 in the device and driven with a DC motor 194. In driving the shutter, an overload detecting circuit (not shown) monitors the drive current of the motor 194 for the detection of overload, and when the overload is detected, the shutter 15 is stopped or reversed. Thus, an accident such as catching a customer's hand in the shutter 15 is prevented.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑮ 特許出願公開  
⑰ 公開特許公報 (A) 昭58-192169

⑯ Int. Cl.<sup>3</sup>  
G 06 F 15/30  
G 07 D 9/00

識別記号 庁内整理番号  
7060-5B  
8109-3E

⑯ 公開 昭和58年(1983)11月9日  
発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 21 頁)

④自動取引装置

②特 願 昭57-75846  
②出 願 昭57(1982)5月6日  
②發明者 深津邦夫

川崎市幸区柳町70番地東京芝浦  
電気株式会社柳町工場内

③出願人 東京芝浦電気株式会社  
川崎市幸区堀川町72番地  
④代理人 弁理士 鈴江武彦 外2名

明細書

1. 発明の名称

自動取引装置

2. 特許請求の範囲

(1) 前面に取引媒体受入口などの操作面を有し、利用者の取引媒体を用いた一連の操作により預金、出金などの取引を自動的に行なう自動取引装置において、前記取引媒体受入口を除く操作面を開閉する開閉自在なシャッタと、このシャッタを開閉駆動するシャッタ駆動部と、前記シャッタの駆動部に過負荷が生じたことを検出する検出手段と、この検出手段による検出結果に応じてシャッタを動作停止あるいは逆方向へ動作せしめる制御手段とを具備したことを特徴とする自動取引装置。

(2) 前記検出手段はシャッタの開放時と閉塞時とで過負荷の検出レベルを変えるようにしたことと特徴とする特許請求の範囲第1項記載の自動取引装置。

3. 発明の詳細を説明

〔発明の技術分野〕

この発明は、たとえば建屋の外壁に利用者操作面を開口させた外壁形の自動取引装置に関する。

〔発明の技術的背景〕

一般に、外壁形の自動取引装置は、第1図に示すように、壁面<sup>1</sup>に対して、水平な操作面<sup>2</sup>と垂直な操作面<sup>3</sup>とからなる接客部<sup>4</sup>が設けられている。そして、防犯性および風雨、ほこりから装置を保護するために、平面のシャッタ<sup>5</sup>が設けられている。このシャッタ<sup>5</sup>は、カード挿入部<sup>6</sup>（および通帳挿入部）以外の接客面を保護するようになっている。また、上記シャッタ<sup>5</sup>は開放時、装置内部に受け入れられるようになっている。

〔背景技術の問題点〕

しかしながら上記のような自動取引装置では、取引が終了してシャッタを閉める制御を単にタイマーによる時間監視でのみ行なうため、不慣れ

な利用客が手をはさみケガをする可能性があり、安全性の面で問題があった。

#### [発明の目的]

この発明は上記事情に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、不慣れな利用客が手を挟んでもケガを防止でき、安全性の向上を計ることができるように自動取引装置を提供することにある。

#### [発明の概要]

この発明は、シャッタの駆動力を検出することにより、過負荷が生じたことを検出し、過負荷の検出に応じてシャッタを動作停止あるいは逆方向へ動作せしめるようにしたものである。

#### [発明の実施例]

以下、この発明の一実施例について図面を参照して説明する。

第2図は外壁形の通貨自動取引装置としての自動預出金機を示すものである。すなわち、建物の内部に設置される筐体1の前面側に建物の外壁3から開口された接客部2が形成されている。

犯、風雨、ほこりからの保護のために設けられるものであり、一定の曲率を有する円筒の一部の形状となっている透明な強化プラスチックによって構成されている。上記接客部2の両側面内部には、それぞれ発光素子16、受光素子17が設けられ、これらにより、上記曲面シャッタ15内の異物たとえば紙、手などを検出する異物検出器18が構成されている。

ところで、筐体1には第3図から第5図に示すように、上記カード挿入口13から挿入されたIDカードの情報を読み取るカード読取装置21、上記紙幣収出口11に指定された金額の紙幣Pを払出す出金機構22、上記通帳挿入口12から挿入された通帳の磁気ストライプを読み取るとともに通帳およびジャーナルに取引内容を記録する通帳読み取印字装置23、上記封筒挿入口9から挿入された封筒に所定の印字を付与して取込むとともに、封筒取出部8から一通ずつの封筒が取出し可能な封筒処理装置24、上記伝票収出口10に取引内容を印字した伝票を

る。この接客部2は筐体1の上下方向ほぼ中央部に形成され、水平操作盤4およびこの水平操作盤4の後端縁に沿って立てる垂直操作盤6を有した形状となっている。

上記水平操作盤4には、テンキーなどからなるキーボード6、およびCRT表示部7がそれぞれ配備されている。また、上記垂直操作盤6の下部には封筒取出部8、封筒挿入口9、伝票収出口10、および紙幣収出口11、上部には通帳挿入口12およびカード挿入口13がそれぞれ配備されている。

また、上記接客部2の側面にはスピーカ孔14が設けられており、このスピーカ孔14の内側にはスピーカ(図示しない)が内蔵されている。

さらに、上記接客部2には上記キーボード6、CRT表示部7、封筒取出部8、封筒挿入口9、伝票収出口10、紙幣収出口11、スピーカ孔14を密閉する開閉自在な曲面シャッタ15が設けられている。この曲面シャッタ15は、防

必要に応じて払出す伝票発行装置25、電源装置26、制御装置27、制御パネル28および上記シャッタ15を受入れるシャッタ受入れ機構(図示しない)などが収容されている。

上記出金機構22を内蔵する筐体1の壁厚のみを厚くし、材質を強固なもの、つまり冷間圧延鋼、ステンレスなどを積層した約10~30の壁厚とし、他の筐体1は冷間圧延鋼が1~2mmの壁厚で構成するようになっている。これにより、犯罪防止上必要十分な筐体機能を有するようになっている。

第6図は前記カード読取装置21を示すもので、21はカード挿入口13から挿入されたカードの搬送路である。この搬送路21は複数の搬送ローラ対33…によって構成されているとともに、上記カード挿入口13から順にシャッタ機構33、磁気ヘッド34、保留部35、およびエンガス部36が配設され、末端側が回収庫37に対向している。なお、38、39、40、41、42はカード検出器で、発光素子と受光

電子とからなる周知の回路であり、カード検出器<sup>18</sup>は入口用、カード検出器<sup>11</sup>は保留用、検出器<sup>12</sup>は回収用となっている。上記搬送ローラ対<sup>32</sup>…はそれぞれ駆動ローラ<sup>13</sup>とピンチローラ<sup>14</sup>とから構成されている。上記駆動ローラ<sup>13</sup>には搬送ベルト<sup>15</sup>が掛渡され、この搬送ベルト<sup>15</sup>を介して上記ピンチローラ<sup>14</sup>が駆動ローラ<sup>13</sup>に転換している。また、駆動ローラ<sup>13</sup>は正転逆転可能なパルスモータ<sup>16</sup>によって駆動されるようになっている。また、カード挿入口<sup>19</sup>個に配置されたピンチローラ<sup>14</sup>は押圧力が搬送時には強く、非搬送時には弱く制御されるようになっている。

上記シャッタ機構<sup>33</sup>はカード挿入口<sup>19</sup>個の搬送ローラ対<sup>32</sup>と次の搬送ローラ対<sup>32</sup>との間にシャッタ<sup>17</sup>を突抜させて搬送路<sup>31</sup>を開閉するもので、上記カード挿入口<sup>19</sup>個のピンチローラ<sup>14</sup>を連動させるようになっている。すなわち、ピンチローラ<sup>14</sup>の押圧力がシャッタ<sup>17</sup>の開放時には強く、閉鎖時には弱くなる

行なわれたのち、パルスモータ<sup>16</sup>が逆転してカードがカード挿入口<sup>19</sup>へ返却され、返却または回収が行なわれる。すなわち、先ずカードの放出動作が行なわれる。そして、カード検出器<sup>18</sup>によりカードが検出されている状態が所定時間経過した後、パルスモータ<sup>16</sup>が停止するとともにシャッタ<sup>17</sup>が閉鎖する。このとき、カードは一部をカード挿入口<sup>19</sup>から突出した状態に保持される。そして、このカードが利用客による抜取りがカード検出器<sup>18</sup>により検出されると取引が終了し、次の取引が初期ステップから実行可能となる。一方、カードがカード検出器<sup>18</sup>に検出されている状態が所定時間経過したとき、カードを取り込み搬送すべくパルスモータ<sup>16</sup>が起動するとともにシャッタ<sup>17</sup>が開放する。そして、カード検出器<sup>11</sup>でカードを検出する状態が所定時間経過した後、パルスモータ<sup>16</sup>が停止する。このとき、カードは保留部<sup>36</sup>に位置し保留される。次に、利用客がカードを取忘れることに気付き、利用客が返却要

ように構成されている。

上記磁気ヘッド<sup>34</sup>は搬送ローラ対<sup>32</sup>のピンチローラ<sup>14</sup>と同軸上に配設されていて、磁気ヘッド<sup>34</sup>の情報処理時にはカードの搬送力が変化しないようにこのピンチローラ<sup>14</sup>のみによってカードが押えられて搬送されるようになっている。上記保留部<sup>36</sup>は搬送路<sup>31</sup>上に形成され、搬送途上のカードを一時保留させ得るようになっている。上記エンガス部<sup>38</sup>はカードに凹凸状に記録された口座番号等を伝票等に写しとるようになっている。上記回収庫<sup>17</sup>は回収されたカードを収容し保管しておくものである。

しかし、カードがカード挿入口<sup>19</sup>から挿入され、カード検出器<sup>18</sup>によりカードの挿入が検出されると、パルスモータ<sup>16</sup>が起動するとともにシャッタ<sup>17</sup>が開放され、カードは取込み搬送される。そして、搬送されながら磁気ヘッド<sup>34</sup>にて情報処理され、エンガス部<sup>38</sup>にて一時停止される。そこで、エンガス動作が

求入力データたとえばID番号を入力すべくヤード<sup>6</sup>を押下げ、この入力したID番号が当該カードによって行なわれた取引に関連した情報たとえばカードに記録されたID番号と合致した場合、保留部<sup>36</sup>に保留されたカードを返却すべくパルスモータ<sup>16</sup>が起動し、カードの放出動作が行なわれ、以下上記ステップが繰返される。したがって取り忘れられて保留されたカードを取り忘れた利用客に確実かつ自動的に返却することができる。また、入力したID番号とカードに記録されたID番号とが合致しない場合、このチェックを3回まで可能とし、3回以上押下げても合致しない場合、取引停止となる。

一方、ID番号を入力する前に次の利用客が取引を開始すべく種目ボタンを押下げた場合、パルスモータ<sup>16</sup>が起動し、前の利用客の保留されたカードがエンガス部<sup>38</sup>およびカード検出器<sup>18</sup>を順次通過して回収庫<sup>17</sup>へ回収される。このとき、例えば、支払動作が行なわれる

場合には通常種目ボタン押下後、短い時間で次の利用客のカードの取込動作に移るが、同一の搬送路 31 でかつカードの取込み方向と回収方向とを同一としたので、前の利用客のカードの回収動作と次の利用客のカードの取込み動作とをパルスモータ 46 を所定方向へ回転させるだけで同時に行なうことができる。そして、カードが回収されると次の取引ステップが行なわれる。

前記出金機構 23 は第 7 図に示すように第 1 のユニット装置 51 と第 2 のユニット装置 52 とに 2 分割され、出金庫 53, 54 を備えた下側の第 1 ユニット装置 51 は上側の第 2 ユニット装置 52 を基準にして 180 度回転した状態に取付可能となっている。

上記第 1, 第 2 ユニット装置 51, 52 を第 7 図にもとづいて説明する。すなわち、第 1 のユニット装置 51 は前部(図中右側)に第 1, 第 2 の出金庫 53, 54 が上下方向に配置されていて、たとえば万円紙幣 P が上側の出金庫

庫 53 からの万円紙幣 P の取出しを検出する紙幣検出器 68、第 2 の専用搬送路 57b には第 2 の出金庫 54 からの千円紙幣 P の取出しを検出する紙幣検出器 59 がそれぞれ配置されるとともに共通搬送路 57c には紙幣 P の重ね取り、折れ、破れなどを検知する紙幣検知器 60 および紙幣検出器 111 が順次配置されている。

また、上記第 1 の専用搬送路 57a は第 1 の搬送ベルト 61, 61 (一方のみ図示) と第 2 の搬送ベルト 62, 62 (一方のみ図示) との相互対向部で、上記第 2 の専用搬送路 57b は第 3 の搬送ベルト 63, 63 (一方のみ図示) と第 4 の搬送ベルト 64, 64 (一方のみ図示) との相互対向部で、また上記共通搬送路 57c は第 1 の搬送ベルト 61, 61 と第 3 の搬送ベルト 63, 63 との相互対向部および第 1 の搬送ベルト 61, 61 と第 5 の搬送ベルト 65, 65 (一方のみ図示) との相互対向部がそれぞれ形成されている。

83 に、また千円紙幣 P が下側の出金庫 54 に収容されている。これら、第 1, 第 2 の出金庫 53, 54 にはそれぞれ収容した紙幣 P … を取出し機構 56 および紙幣 P … を取出し機構 55 側に適当圧で押圧するバックアップ機構 56 が組込まれて、万円紙幣 P あるいは千円紙幣 P が選択的に取出されるようになっている。

また、第 1 のユニット装置 51 の後部(図中左側)には第 1, 第 2 の出金庫 53, 54 から選択的に取出された紙幣 P … を第 2 のユニット装置 52 側に供給搬送する供給搬送路 57 が形成されている。この供給搬送路 57 は第 1 の出金庫 53 から取出された万円紙幣 P … を搬送する第 1 の専用搬送路 57a と、第 2 の出金庫 54 から取出された千円紙幣 P … を搬送する第 2 の専用搬送路 57b と、これら第 1, 第 2 の搬送路 57a, 57b で搬送されてきた万円紙幣 P …, 千円紙幣 P … を引き継ぎ搬送する共通搬送路 57c によって構成されている。

上記第 1 の専用搬送路 57a には第 1 の出金

庫 53 からの万円紙幣 P の取出しを検出する紙幣検出器 68、第 2 の専用搬送路 57b には第 2 の出金庫 54 からの千円紙幣 P の取出しを検出する紙幣検出器 59 がそれぞれ配置されるとともに共通搬送路 57c には紙幣 P の重ね取り、折れ、破れなどを検知する紙幣検知器 60 および紙幣検出器 111 が順次配置されている。

また、共通搬送路 57c は第 1 のユニット装置 51 の前端面にほぼ沿うように上方に紙幣 P を搬送したのちほぼ水平かつ後方に搬送するようになっている。この共通搬送路 57c の水平部には紙幣 P … を第 2 のユニット装置 52 側に搬出するための選択的に使用される第 1, 第 2 の紙幣搬出部 69, 70 が形成されている。すなわち第 1 の紙幣搬出部 69 は第 3 の搬送ベルト 63, 63 の折返し部と第 5 の搬送ベルト 65, 65 の一方の折返し部との間に形成された空間部 71 に第 1 の搬送ベルト 61, 61 の中途部を押込ローラ 72 を介して押込んだ状態にするとともに第 1 のガイド板 73 を配置した構成となっている。また、第 2 の紙幣搬出部 70 は第 5 の搬送ベルト 65, 65 の他方の折返し

部に第1の搬送ベルト81, 81の中途部が沿うようにローラ86によって支持させるとともに第2のガイド板74を配置した構成となっている。

また、第2のユニット装置52はつぎのように構成されている。すなわち、第2のユニット装置52の前後方向中央部(図中左右方向中央部)には紙幣受入部75から受入れた支払紙幣Pを上方に収込搬送する取込搬送路77が形成されている。この取込搬送路77の終端部には第1の振分ゲート78が配置されていて、取込搬送路77の中途部に配置された紙幣検出器79に紙幣Pの先端がきたとき、この紙幣Pを正紙幣搬送路80あるいは除外紙幣搬送路81に選択的に送り込むようにロータリソレノイド等のゲート作動装置82を介して切換えるようになっている。

上記取込搬送路77は第8の搬送ベルト83, 83と第7の搬送ベルト84との相互対向部で形成されており、正紙幣搬送路80は第6の搬

送ベルト83, 83の上部水平部上面およびこの上部水平部上面の一部に重合される第8の搬送ベルト85, 85との相互対向部で形成されている。また、除外紙幣搬送路81は第7の搬送ベルト84, 84の上部水平部とこの上部水平部にその一部を重合させた第9の搬送ベルト86, 86との相互対向部によって形成されている。

各搬送ベルト83～86はこれらが掛渡されるローラ87のいくつかにモータ88の駆動力が動力伝達系89を介して伝達されることによりそれぞれ所定の方向に走行するようになっている。

また、正紙幣搬送路80の終端部には羽根車90, 90が配置されていて、正紙幣搬送路80によって搬送されてきた正紙幣Pはこの羽根車90, 90の各羽根90a, 90a間で保持され、回転に伴って一時集積部91に運ばれるとともに分離ストッパー92, 92によって紙幣Pが羽根車90, 90から分離されて一時集

積部91の下辺を形成する払出し・回収兼用の搬送ベルト93, 93上に集積されるようになっている。

上記払出し・回収兼用の搬送ベルト93, 93は紙幣取出口11の近傍に配置されたローラ98および紙幣受入部75の近傍に配置されたローラ99に掛渡され、その上面の紙幣取出口11側にはピンチローラ100が、また紙幣受入部75側には前記第6の搬送ベルト83, 83がそれぞれ重合された状態となっている。

しかし、一時集積部91に集積された紙幣P…は押付体として機能する分離ストッパー92, 92の押付動作および払出し・回収兼用の搬送ベルト93, 93の払出し方向あるいは回収方向の選択的な走行動作に伴って紙幣取出口11側あるいは後述する回収庫101側に一括して取出されることになる。

また、上記ピンチローラ100と一時集積部91との間には紙幣取出口11に一括して払出される紙幣群P…の後端を検知して搬送ベルト

93, 93の走行動作を停止させるための紙幣検出器102が配置されている。さらに、紙幣取出口11とピンチローラ100との間にソレノイド103によって開閉動作が行なわれるシャッタ104が配置されるとともにシャッタ104の後面側に位置して紙幣検出器105が配置されている。

一方、前記紙幣取出口11に払出された紙幣P…の取忘れがあった場合、あるいは一時集積部91に2枚取りされた除外紙幣P…が詰まって集積された場合には、これら紙幣P…は回収用搬送路106を介して第2のユニット装置52の後部に設けられた回収庫101に収容すべく搬送するようになっている。この回収用搬送路106は払出し・回収兼用の搬送ベルト93, 93の上面部、前記取込搬送路77、除外紙幣搬送路81、および第10の搬送ベルト107が重合される上記第9の搬送ベルト86の後部下面部によって形成され、この終端部は回収庫101に対向している。

また、回収用搬送路 106 の中途部を形成する排除紙幣搬送路 81 の終端部近傍にはソレノイド 108 によって作動する第 2 の振分ゲート 109 が設けられている。そして、重ね取りされた排出紙幣 P … を回収庫 101 の前部に配置されたリサイクル庫 110 に、また回収紙幣 P … をそのまま直線させて回収庫 101 にそれぞれ収容すべく搬送されてきた紙幣 P … を振分けるようになっている。

また、前記正紙幣搬送路 80 の中途部にはその搬送路の紙幣 P の通過を検出する紙幣検出器 111 が、排除紙幣搬送路 81 の中途部にはその搬送路の紙幣 P … を検出する紙幣検出器 112 が、回収用搬送路 66 の中途部にはその搬送路の紙幣 P の通過を検出する紙幣検出器 113 がそれぞれ配置されている。

なお、前記紙幣検出器 88, 29, 79, 103, 111, 112, 113, 114 はたとえば発光素子と受光素子とからなる周知の構成となっている。

を押える一对の押えガイド 134 が設けられている。さらに搬送路 124 を介してプラテン 133 に対向してプリンタ 135 が設けられている。このプリンタ 135 は印字ヘッド 136 と、このヘッド 136 を保持しながら、スライドロッド 137 に沿ってプラテン 133 に平行に移動するキャリッジ 138 とから構成されている。このキャリッジ 138 は図示しないパルスモータによって駆動される。さらにプラテン 133 にはジャーナル用紙 139 が巻付けられている。ジャーナル用紙 139 は送出軸 140 に巻回保持されていて、プラテン 133 を介して巻取軸 141 に巻取られる。ジャーナル用紙 139 は送りローラ 142 やおよびこれに対向するピンチローラ 143 によって挟持搬送される。ピンチローラ 143 はばね 130 によって送りローラ 142 に向けて付勢されている。送りローラ 142 やおよび巻取軸 141 はベルト 144, 145 を介してパルスモータ 146 により駆動される。なお、巻取軸 141 は送りローラ 142

第 8 図は通帳読取印字装置 23 を示すものである。すなわち、前記通帳挿入口 12 に内側には通帳挿入口 12 に接して一对の光学的検知器 121 が設けられている。検知器 121 は光源 122 および受光器 123 から構成されている。この検知器 121 から装置 23 内に向って搬送路 124 が設けられている。搬送路 124 は、ローラ 126, 125 間に張設されたベルト 126、ピンチローラ 127 および上側、下側のガイド板 128, 129 から構成されている。また、ガイド板 129 には通帳の磁気ストライプのデータを読み取る磁気ヘッド 147 が配設されている。ピンチローラ 127 はばね 130 によってローラ 126 側に付勢されている。ローラ 126 はベルト 124 を介してパルスモータ 132 によって駆動される。搬送路 124 の搬送基準面よりも上方にその周面が突出するよう位置決めされているプラテン 133 が設けられている。プラテン 133 の前後にはプラテン 133 に向って上昇するよう傾斜した通帳

より高速で回転し、その負荷が重くなるとベルト 145 がスリップするようになっている。

第 9 図は封筒処理装置を示すものである。すなわち、前記封筒取出部たとえばハンドル 8 の内部には封筒発行装置 150 が設けられている。この封筒発行装置 150 は入金用の現金を入れる封筒を 1 通ずつ発行するものであり、入金取引時以外は取り出せないようになっている。上記封筒発行装置 151 は第 10 図に示すように、ホッパ 151 内にばね 152, 153 によって押圧される押板 153 が設けられ、この押板 153 上には未使用の封筒が載置されるようになっている。上記ハンドル 8 の両端部には前記接合部 8 に設けられた開口部 154, 155 を介して摺動自在な軸 156, 156 の一端が固定されている。上記軸 156, 156 は上記ホッパ 151 の上部に設けられた支持体 157, 158 により摺動自在に支持されるようになっている。上記軸 156, 156 の他端間にわたって、封筒取出板 158 が掛置されて設けら

れている。この封筒取出し板158はL字形の構成となっており、その幅Lは封筒一通分の厚さに近似したものとなっている。上記封筒取出し板158の上部にはロックづめ168aが設けられている。また、ホッパ151の図示右側にはソレノイド159が設けられており、このソレノイド159はその励磁に応じてプランジャー160を図示矢印↑, ↓方向つまり上下に移動するものである。このプランジャー160には連結レバー161が連結され、この連結レバー161はロックアーム158上の突起部165aと連結されている。上記ロックアーム158の一端は上記ロックづめ168aと保合するようになっており、他端はばね162を介して上記ホッパ151に固定された板163に連結されるようになっている。上記ロックアーム158は板163上に設けられた突起部163aを支点として、連結レバー161の移動に伴って図示矢印←, →方向へ回動するようになっている。なお、上記ハンドル8の引出し板、その

ハンドル8の戻しは、利用客が行なうものであったり、ばね(図示しない)により自動的に行なうようになっている。

また、前記封筒挿入口9の内側には封筒収容部164が設けられている。すなわち、165は封筒挿入口9から挿入された封筒の搬送路である。この搬送路166は複数の搬送ローラ対166…および上側と下側のガイド板170, 171, 172によって構成されているとともに、上記封筒挿入口9から順にシャッタ機構167、および印刷部168が配設され、末端側が収容ホッパ169に対向している。なお、170, 171, 172は封筒検出器で、発光素子と受光素子とかなる周知の回路であり、封筒検出器170は入口用、カード検出器171, 172は印字用となっている。上記搬送ローラ対166…はそれぞれ駆動ローラ173とピンチローラ174とから構成されている。上記駆動ローラ173には搬送ベルト175が掛渡され、この搬送ベルト175を介して上記ピンチローラ

174が駆動ローラ173に転接している。また、駆動ローラ173はパルスモータ176によって駆動されるようになっている。上記シャッタ機構167は封筒挿入口9と搬送ローラ対166との間にシャッタ177を突抜させて搬送路166を開閉するものである。

上記印刷部168は、第1.1図に示すように、構成されている。すなわち、円周外面に数字を刻印したインデックス押印部180が設けられている。このインデックス押印部180はガイドローラ181…によってガイドされるようになっている。上記インデックス押印部180は、カム板182が軸183を支点として回動することにより、上下へ移動するようになっている。このカム板182の突起部183aには連結レバー183が連結され、この連結レバー183はその一端に連結されるばね184によって図示矢印↑, ↓方向へ付勢されており、この他端にはプランジャー185が連結される。このプランジャー185はソレノイド186の

励磁により図示矢印↑, ↓方向へ移動するようになっている。上記封筒検出器171で封筒の先端を検出したとき、パルスモータ176を停止し、ソレノイド186を動作させることにより、インデックス押印部180を移動し、封筒上にスタンプを押印し、その後パルスモータ176を駆動して封筒検出器173で封筒の先端を検出したとき、パルスモータ176を再び停止し、ソレノイド186を動作させることにより、インデックス押印部180を移動し、封筒上にスタンプを押印するようになっている。

上記収容ホッパ169は上記搬送路166から供給される封筒を順次収容するものであり、ガイド板187、載置台188、この載置台188上に封筒が立位状態で収容されるための保持部材189、および保持部材189を図示矢印↑, ↓方向へ付勢するばね190によって構成されている。

第1.2図は前記曲面シャッタ16のシャッタ受入機構191を示すものである。すなわち、

前記曲面シャッタ 15 は一定の曲率を有する円筒の一部の形状となっており、前記筐体 1 の内部のローラ対 192, 193 によって保持され、前記垂直操作盤 6 の開口部 5a を介して筐体 1 内と接客部 3 とを摺動自在に設けられている。一方、筐体 1 内のほぼ中央部に設けられた仕切板 193 上には直流モータ (駆動部) 194 が固定されている。この直流モータ 194 の回転軸にはゴムローラ 195 が固定され、このゴムローラ 195 にはゴムローラ 196 が連接されている。このゴムローラ 196 は上記曲面シャッタ 15 の下部の一部に設けられた伝達部材 18a たとえばプラスチック板に連接されている。これにより、直流モータ 194 の回転に応じて曲面シャッタ 15 が図示矢印 k, l 方向へ移動するようになっている。上記曲面シャッタ 15 が接客面 3 を覆った際、筐体 1 内の端部が位置する近傍に曲面シャッタ 15 の閉塞を検出する検出器 197 が設けられるとともに、曲面シャッタ 15 をロックするロック機構 198 が

る。プリントコントローラ 203 は主制御部 201 からの信号によりメモリ 204 の英語パターンに応じたプリントデータを出力するあるいはメモリ 205 の日本語パターンに応じたプリントデータを出力するものであり、ドライバ 206 はプリントコントローラ 203 からのプリントデータに応じて通帳読取印字装置 33 内のプリンタ 135 を駆動するものであり、ドライバ 207 はプリントコントローラ 203 からのプリントデータに応じて伝票発行装置 35 内のプリンタを駆動するものである。操作／案内プリントコントローラ 208 は主制御部 201 からの信号によりメモリ 209 の日本語パターンあるいはメモリ 210 の英語パターンに応じた表示データを出力したり、キーボード 6 のキー入力に応じた操作データあるいは音声選択信号を出力するものであり、ドライバ 211 は操作／案内コントローラ 208 からの表示データあるいは操作データに応じて CRT 表示部 7 を駆動するものである。音声合成装置 212 は主制

設けられており、曲面シャッタ 15 が筐体 1 内に収納された際、上記曲面シャッタ 15 の端部が位置する近傍に曲面シャッタ 15 の開放を検出する検出器 199 が設けられている。上記検出器 197, 199 はたとえばマイクロスイッチにより構成され、上記曲面シャッタ 15 によりオンあるいはオフされるようになっている。上記ロック機構 198 は、曲面シャッタ 15 の開口部 15b と嵌合する嵌合部材 198a、この嵌合部材 198a を上下動するつまり図示矢印 m, n 方向へ移動するソレノイド 198b によって構成されている。なお、シャッタ受入機構 191 はユニットとユニットの間あるいはユニットと仕切板との間に設けられるようになっている。

第 13 図は電気回路を概略的に示すものである。すなわち、主制御部 201 は全体を制御するものであり、メインメモリ 202 はたとえば ROM (リード・オンリ・メモリ) で構成され制御プログラムなどが記憶されるようになっている。

制御部 201 からの制御信号あるいは操作／案内コントローラ 208 からの音声選択信号に応じて日本語の音声データに応じた音声信号あるいは英語の音声データに応じた音声信号をアンプ 215 を介してスピーカ 216 に出力することにより、そのスピーカ 216 から音声案内を発生せしめるものである。このスピーカ 216 は曲面シャッタ 15 内に収納されているため、雨、風を防ぎ、寿命が長くなる。ドライバ 217 は主制御部 201 からの開閉信号に応じて前記モータ 183 を正方向あるいは逆方向へ駆動するとともに、電流検知回路 218 からの検知信号に応じてモータ 183 を駆動あるいは停止するものである。上記電流検知回路 218 はドライバ 217 の駆動電流を検知するものであり、モータ 183 を正方向つまり図示 o 方向へ移動している場合と逆方向つまり図示 p 方向へ駆動している場合とで異なった検知レベルで電流検知を行なうようになっている。

一方、上記主制御部 201 は前記曲面シャッタ

タ 15 の閉成時、異物検出器 18 が異物を検出している際、タイマ回路 210 を作動せしめ、所定時間経過後タイマ回路 210 から供給されるタイムアウト信号により曲面シャッタ 15 の閉塞信号をドライバ 217 に出力するようになっている。また、主制御部 201 はモデル 220 によって中央処理装置 221 とデータ伝送を行なうようになっている。上記中央処理装置 221 は、データ伝送を制御するモデル 222、データ処理を制御するホストコンピュータ 223、および取引情報をファイルする取引情報ファイル 224 によって構成されている。

前記音声合成装置 212 を第 14 図を用いて詳細に説明する。すなわち、セレクタ 230 は操作／案内コントローラ 208 からの日本語、英語の音声を選択する選択信号に応じて主制御部 201 から供給される発生しようとする音声の先頭アドレスをメモリ 231 あるいはメモリ 233 に出力するものである。上記メモリ 231 は種々の日本語の音声に対応する音声パラメー

タたとえば音道特性を表わす基本周波数、有聲音／無聲音の別、音源振幅の 4 つからなるデータを記憶しているものであり、メモリ 233 は種々の英語の音声に対応する音声パラメータたとえば音道特性を表わす基本周波数、有聲音／無聲音の別、音源振幅の 4 つからなるデータを記憶しているものである。上記メモリ 231、233 の出力はインターフェイス回路 234 を介してデコーディング回路 235 に供給される。このデコーディング回路 235 は供給された音声パラメータを各パラメータに対応するコード・テーブルによりシリアルデータに変換するものである。上記デコーディング回路 235 の出力は補間回路 236 に出力される。この補間回路 236 は、音声パラメータが周期的に更新され、1 つの更新期間（1 フレーム）から次へと移る際に極端な変化が生じることなくスムーズに各音声パラメータを変化させるために所定ピットの音声パラメータ全部に対して 1 フレーム内の任意の数ポイントにおいて近似的に直線

的補間を行なうものである。上記補間回路 236 から出力される音源情報は音源回路 236 に供給される。この音源回路 236 は供給される音源情報に応じて音源信号として周期的インパルス信号（白色雜音信号）を出力するものである。上記音源回路 236 の出力はディジタル・フィルタ回路 237 に供給され、このディジタル・フィルタ回路 237 には前記補間回路 235 からフィルタ係数に応じて分析過程で除去された相関を付与することにより音声信号が合成されるものであり、たとえば図示しないパイプライン乗算器、加算／減算器および遅延回路によって構成されている周知のものである。上記ディジタル・フィルタ回路 237 の各ビット出力はディジタル・アナログ変換器（D/A 変換器）238 に供給される。この D/A 変換器 238 で変換された信号つまり合成音声信号は前記アンプ 215 で増幅されてスピーカ 216 に供給され、そこで対応する音声が発生するようになっている。

第 15 図は前記シャッタ受入機構 191 の電気回路を示すものである。すなわち、交流電源 240 の両端は整流回路 241 の直流入力端に接続される。この整流回路 241 の正側の直流出力端 P は抵抗 242 を介して NPN 形トランジスタ 243 のコレクタに接続される。このトランジスタ 243 のベースと上記整流回路 241 の負側の直流出力端 N との間には定電圧回路 244 が接続されている。上記トランジスタ 243 のエミッタと出力端 N との間には抵抗 245、246 からなる直列回路、前記ドライバ 217、および抵抗 247、248、249 からなる直列回路が接続されている。上記定電圧回路 244 の出力端は上記抵抗 246、246 の接続点に接続される。上記ドライバ 217 は主制御部 201 からの開閉用駆動信号に応じてモータ 183 を正あるいは逆方向へ駆動せしめるとともに、後述する差動増幅器 254 からの出力信号に応じてモータ 183 を停止するものである。上記抵抗 247、248 の接続点には

切換スイッチ 250 の切換接点 250<sub>1</sub> が接続され、この切換スイッチ 250 の切換接点 250<sub>2</sub> には上記抵抗 248, 249 の接続点に接続される。上記切換スイッチ 250 は前記主制御部 201 からの開閉用の駆動信号によって切換わるものである。一方、出力端 P, N 間には抵抗 251 が接続され、トランジスタ 243 のコレクタと出力端 N の間には抵抗 252 が接続されている。上記出力端 P と抵抗 251との接続点には差動増幅器 253 の非反転入力端が接続され、この差動増幅器 253 の反転入力端には前記トランジスタ 243 のコレクタと抵抗 252 との接続点が接続される。上記差動増幅器 253 は抵抗 242 における電流値から所定の電流値を差し引いたものを出力するものである。上記差動増幅器 253 の出力端は差動増幅器 254 の反転入力端に接続され、この差動増幅器 254 の非反転入力端には上記切換スイッチ 250 の可動接点 250<sub>3</sub> が接続される。上記差動増幅器 254 の出力端は前記ドライバ 217 の入力

195, 196 が回転し、曲面シャッタ 15 が矢印 b 方向へ移動する。

しかし、上記のような曲面シャッタ 15 の開動作の途中でいたずらなどによって曲面シャッタ 15 が移動しなくなった場合、ゴムローラ 196 と伝達部材 150 とがスリップするため、モータ 194 に対して過負荷が生じる。これにより、ゴムローラ 196 のスリップによりドライバ 217 に印加される電流が増加し、その電流がレベル A 以上となったことを電流検知回路 218 が検知した際、この電流検知回路 218 は停止信号を主制御部 201 に出力する。すると、主制御部 201 はモータ 194 を停止せしめる。このようにして、曲面シャッタ 15 が筐体 1 内に完全に収納されたとき、曲面シャッタ 15 の端部により検出器 199 がオンする。すると、主制御部 201 は検出器 199 からの検出信号により、ドライバ 217 への駆動信号の出力をやめ、モータ 194 を停止せしめる。このとき、主制御部 201 は言語選択信号を操作/

端に接続される。なお、上記差動増幅器 254 の出力は停止信号として前記主制御部 201 に供給されるようになっている。

次に、このような構成において第 16 図に示すフローチャートを参照しつつ動作を説明する。たとえば今、まず利用客(顧客)はカードをカード挿入口 3 に挿入する。すると、そのカード上の磁気ストライプ上のデータが磁気ヘッド 34 により読み取られ、主制御部 201 に供給される。これにより、主制御部 201 はカードの正当性をチェックする。そして、主制御部 201 はカードの正当性を判断したとき、ソレノイド 198b を励磁し、嵌合部材 198a を上方向へ移動することにより、この嵌合部材 198a が曲面シャッタ 15 の開口部 15b と嵌合しなくなる。この結果、曲面シャッタ 15 のロックが解除される。この後、主制御部 201 はドライバ 217 に駆動信号を出力することによりモータ 194 を図示矢印 a 方向へ回動せしめる。すると、モータ 194 の回転によりゴムローラ

案内コントローラ 208 に出力する。すると、操作/案内コントローラ 208 は、メモリ 209, 210 から英語、日本語の文字パターンを読み出し、言語選択用の表示パターンをドライバ 211 に出力する。これにより、ドライバ 211 は第 17 図に示すように、日本語の音声なし、日本語の音声有り、英語の音声なし、英語の音声有り、とを選択するように CBT 表示部 7 で表示せしめる。

そして、利用客が日本語の音声有りを選択すると、その選択信号は操作/案内コントローラ 208 から主制御部 201 および音声合成装置 212 に出力される。これにより、主制御部 201 は暗証指示信号を操作/案内コントローラ 208 に出力するとともに、音声合成装置 212 に出力する。すると、操作/案内コントローラ 208 はメモリ 209 の日本語パターンを用いて、暗証指示用の表示パターンをドライバ 211 に出力する。これにより、ドライバ 211 は「暗証番号を入力して下さい。」とい

り操作案内文と言語選択キーの指示とをCRT表示部7で表示せしめる。また、このとき、音声合成装置212は操作/案内コントローラ208からの言語選択信号によりセレクタ230が主制御部201からの暗証指示に応じたアドレスを日本語パターンが記憶されるメモリ231に出力する。これにより、音声案内装置212はメモリ231の日本語パターンを用いて、暗証指示用の音声パターンをアンプ215を介してスピーカ216に出力する。したがって、スピーカ216から、「暗証番号を投入して下さい」という日本語の音声案内が発生される。

そして、利用客が暗証番号をキーパード6により投入すると、その信号は操作/案内コントローラ208から主制御部201に出力される。これにより、主制御部201はカード読取装置31で読取った暗証番号とキーパード6により入力した暗証番号との一致チェックを行なう。一致したとき、主制御部201は、支払・種目指示信号を操作/案内コントローラ208に出

すなわち、第1、第2の出金庫53、54から取出し機構55、56を介して取出された紙幣P…はそれぞれの専用搬送路57a、57bに配置された紙幣検出器58、59により検出される。この検出信号により主制御部201内のカウンタ(図示しない)をカウントアップし、そのうち共通搬送路57cに配置された紙幣検知器60によって鑑別され、さらに搬送されて第2の紙幣搬出部70から第2のユニット装置58側に搬出される。

この第2のユニット装置58側に順次搬出された紙幣Pは紙幣受入部75から取込搬送路77に取込まれて搬送され、紙幣検知器79によって紙幣Pの先端が検知された時、重ね取りのない正紙幣Pであれば第1の振分ゲート78が左側に倒れて正紙幣搬送路80に送り込まれる。ついで、羽根車90、90を介して一時集積部91上に搬送され分離ストッパ92、93の端面に当接することにより羽根車90、90から分離されて下方に落下し、支払出し方向に

力するとともに、音声合成装置212に出力する。すると、操作/案内コントローラ208はメモリ230の日本語パターンを用いて、支払・種目指示用の表示パターンをドライバ211に出力する。これにより、ドライバ211は第1.8図に示すようにCRT表示部7で「お支払の方は金額を××××円と投入して下さい。それ以外の方は下の種目から御希望のものを選択して下さい。」という操作案内文と種目選択キーの指示とを表示せしめる。

そして、利用客がキーパード6により支払金額を投入すると、主制御部201は「ただいまコンピュータと交信中です。」という操作案内をCRT表示部7で表示せしめるとともに、スピーカ216でその案内を発生せしめる。そして、交信が終了すると主制御部201は出金機構22に対して出金信号を出力する。すると、出金機構22は第1、第2の出金庫53、54から取出した紙幣Pを紙幣取出口11から排出する。

走行している払出し・回収兼用の搬送ベルト93、93と入れ子状態となっているため紙幣P…は端部を揃えた状態に整然と集積されることになる。

このように指定の金額が出金庫43、44から取出されて一時集積部91に集積された紙幣P…が全て重ね取りのない正紙幣であり、しかも主制御部201においてカウンタのカウント結果と設定金額とが一致した場合には出金搬送系の搬送ベルトの搬送が一時停止する。このとき羽根車90、90の回転も出金搬送路系の搬送ベルトが停止することにより停止する。

この後、分離ストッパ92、93が回動して一時集積部91に集積された紙幣P…を払出し回収兼用の搬送ベルト93、93に押付けるとともに上記搬送ベルト93、93が払出し方向に走行し、一時集積部91に集積されていた紙幣P…が一括して取出され紙幣取出口11側に搬送される。

そして、この紙幣P…の先端が紙幣検出器

105を検知した時、シャッタ104がソレノイド103によって開かれ、後端が紙幣検知器102で検知したところで搬送動作が停止し、紙幣P…の先端が紙幣取出口11に突出した状態かつ後端側が搬送ベルト93, 93とピンチローラ100によって挟まれた状態で利用客に対して払出しが行なわれる。

上記紙幣取出口11に紙幣Pが排出されると同時に、主制御部201は「現金をお取り下さい。」という案内文字をCRT表示部7で表示せしめるとともに、スピーカ216でその案内を発生せしめる。ついで、利用客は案内にしたがって、紙幣取出口11から紙幣Pを取出す。この取出しに応じて主制御部201は伝票発行を判断し、「伝票をお取り下さい。」という操作案内をCRT表示部7で表示せしめるとともに、スピーカ216でその操作案内を発生せしめる。また、このとき、主制御部201はプリントコントローラ203に発行信号を出力する。すると、プリントコントローラ203はメモリ204

「シャッタがします。注意して下さい。」という操作案内をCRT表示部7で表示せしめるとともに、スピーカ216でその案内を発生せしめる。またこのとき、主制御部201はドライバ217を駆動することにより、モータ194を矢印方向へ回転せしめる。このモータ194の回転により、曲面シャッタ15が矢印方向へ移動する。そして、この曲面シャッタ15の端部により検出器197がオフとなったとき、主制御部201はモータ194を停止せしめるとともに、ソレノイド198bを消勢する。これにより、嵌合部材198aが下方向へ移動することにより、この嵌合部材198aが曲面シャッタ15の閉口部15bに嵌合する。この結果、曲面シャッタ15がロックされる。

しかし、上記のような曲面シャッタ15の閉動作の途中で曲面シャッタ15によって利用客の手が挟まった場合、ゴムローラ196と伝達部材16bとがスリップするため、モータ194に対して過負荷が生じる。このとき、ゴ

の日本語の文字パターンを読み出し、取引内容に応じた表示パターンをドライバ207, 208に出力する。これにより、ドライバ207は伝票発行装置26で日本語の取引内容を印字した伝票を発行せしめ伝票取出口10に排出する。またドライバ208は通帳読取印字装置23内のプリンタ138で日本語の取引内容をジャーナル用紙139に印字せしめる。ついで、利用客は案内にしたがって、伝票取出口10から伝票を取出す。この取出しに応じて主制御部201はカード放出を判断し、「カードをお取り下さい。」という操作案内をCRT表示部7で表示せしめるとともに、スピーカ216でその案内を発生せしめる。また、このとき、主制御部201はカード読取装置21に放出信号を出力することにより、カード読取装置21からのカードをカード挿入口13に排出せしめる。ついで、利用客は案内にしたがって、カード挿入口13からカードを取出す。この取出しに応じて主制御部201は曲面シャッタ15の閉塞を判断し、

ムローラ196のスリップによりドライバ217に印加される電流が増加し、その電流が第19図に示すようにレベルB以上となったことを電流検知回路218が検知した際、この電流検知回路218は停止信号を主制御部201に出力する。すると、主制御部201はモータ194を停止せしめる。この結果、曲面シャッタ15により利用客の手が挟まても、弱い力で挟まつた状態で曲面シャッタ15が停止するため、利用客は安全にしかも容易に挟まつた手を曲面シャッタ15からはずすことができる。

また、上記曲面シャッタ15の閉動作時、検出器18によりカードの残留などが検出された際、主制御部201はモータ194の回転を停止し、曲面シャッタを停止せしめるとともに、タイマ回路219を作動せしめる。そして、所定時間経過後、検出器18が残留を検出していても、タイマ回路219のタイムアウト信号により、主制御部201はモータ194を駆動せしめ、曲面シャッタ15を完全に閉める。この

閉動作完了時、前述したように曲面シャッタ 16がロック機構 19によりロックしている。

一方、前記種目選択時に残高照会に対するキーを投入すると、主制御部 201は「ただいまコンピュータと交信中です。」という操作案内をCRT表示部 7で表示せしめるとともに、スピーカ 216でその案内を発生せしめる。そして、交信が終了すると、主制御部 201は受信した残高データをプリントコントローラ 203に出力する。するとプリントコントローラ 203はドライバ 209を駆動することにより、残高のみが印字された伝票を発行せしめ、伝票取出口 10に排出する。この後、主制御部 201はドライバ 209を駆動することにより前述したように動作して曲面シャッタ 16を開める。

ところで、前記種目選択時に封筒預りに対するキーを投入すると、主制御部 201は封筒処理装置 24にロック解除信号を出力する。すると、封筒処理装置 24はソレノイド 159を励磁することにより連結レバー 161が下方へ移

動にともなってロックアーム 156が矢印 A方向へ回動することにより、ロックアーム 156とロックづめ 158が保合する。この結果、ハンドル 8による封筒取出しが禁止される。そして、封筒が封筒検出器 170により検出されたとき、モーター 176を停止する。

ついで主制御部 201は「ただいまコンピュータと交信中です。」という案内をCRT表示部 7で表示せしめるとともに、スピーカ 216でその案内を発生せしめる。そして、交信が終了すると主制御部 201は封筒処理装置 24内の印刷部 168に駆動信号を出力する。すると、ソレノイド 186を励磁することにより連結レバー 183を矢印 B方向へ引く。これにより、カム板 182が軸 182を支点として回動してインデックス押印部 180が下方へ移動することにより、封筒上にスタンプが押印される。この押印後、ソレノイド 186が消勢されレバー 183が矢印方向へ戻ることにより、インデックス押印部 180が元の位置に復帰する。す

べし、ロックアーム 156が突部 163を支点として矢印 A方向へ回動せしめる。これにより、ロックアーム 156がロックづめ 158と保合しなくなり、封筒取出しのロックが解除される。このとき、主制御部 201は「封筒を取り出し、その封筒内に小切手、手形あるいは現金などを封入した後、その封筒を挿入して下さい。」という案内をCRT表示部 7で表示せしめるとともに、スピーカ 216でその案内を発生せしめる。ついで、利用客は案内にしたがって、ハンドル 8を引く。すると、封筒取出し板 158により1通の封筒が開口部 164から排出される。このとき、一回の動作でうまく封筒が取出せない場合でも何回でもやり直しができる。そして、利用客はこの封筒に小切手、手形あるいは現金などを封入し、封筒挿入口 6に挿入する。すると、封筒検出器 170の検出信号により主制御部 201はソレノイド 159を消勢することにより、連結レバー 161が上方へ移動し元の位置に復帰する。この連結レバー 161の移

ると、再びモーター 176を駆動することにより、封筒を移動する。そして、封筒が封筒検出器 170により検出されたとき、モーター 176を再び停止し、ソレノイド 186を励磁することにより、カム板 182を回動してインデックス押印部 180が下方へ移動し、封筒上に2つめのスタンプが押圧される。この押印後、ソレノイド 186が消勢されインデックス押印部 180が元の位置に復帰する。この後、再びパルスモーター 176を駆動することにより封筒を移動し、収容ホッパ 169内に収容する。このように、封筒に対してのスタンプが2ヶ所に行なわれるため、小切手、手形あるいは現金などにより凹凸のある封筒に対しても確実にスタンプが行なえる。この後、前述した伝票発行とカード放出の動作が行なわれる。

なお、通帳が挿入された場合も、前述したカードの場合と同様に動作するようになっている。また、日本語の音声なしの場合も、上述した動作をスピーカから音声を発生するのを防げば同

様に動作する。さらに、英語の音声なし・音声有りに応じた動作も上述した日本語の場合と同様に動作する。

なお、上記各ステップにおける操作案内に対するCRTディスプレイの表示は、第20図、第21図に示すように各ステップごとに異なった行で行なわれる。これにより、類似する表示内容がつづけて表示された場合でも、利用客が表示内容が変化したことを見落すことがなくでき、誤操作を減少することができる。

なお、前記実施例では、CRT表示部による可視表示に音声案内を選択的に付加できるものであったが、これに限らず音声案内を一部分だけ選択的に付加するものであっても良い。また、封筒上に押されるスタンプが2ヶ所であったが2ヶ所以上の複数ヶ所であっても良い。さらに、英語と日本語の2ヶ国語表現であったが、これに限定されるものではなく、他の言語の組合せあるいはこれ以上の数の言語の組合せ、障害者のための言葉と点字の組合せといった応用もで

用もできる。

#### [発明の効果]

以上詳述したようにこの発明によれば、不慣れな利用客が手を挟んでもケガを防止でき、安全性の向上を計ることができる自動取引装置を提供できる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の自動取引装置の断面図、第2図～第21図はこの発明の一実施例を示すもので、第2図は外観斜視図、第3図は内部構成の概略図、第4図は第3図におけるA-A'断面図、第5図は第3図におけるB-B'断面図、第6図はカード読み取り装置の概略を示す断面図、第7図は出金機構の断面図、第8図は通帳読み取り印字装置の断面図、第9図は封筒処理装置の断面図、第10図は一部切断した封筒発行装置の斜視図、第11図は印刷部の概略を示す断面図、第12図はシャッタ受入機構の断面図、第13図は全体の構成を概略的に示すブロック図、第14図は音声合成装置の概略ブロック図、

できる。さらにまた、言語の選択はキーボードによる入力であったが、あらかじめ磁気カード、磁気通帳にこれをコードとして記録し、これを読み取ることによりキー操作なしで言語選択する方法もある。また、1回目の操作の時だけ、キー入力すれば、その取引において、指定された言語カードを磁気カード、磁気通帳に記録し、その後の取引においてはキー入力を必要としないという応用もできるものである。

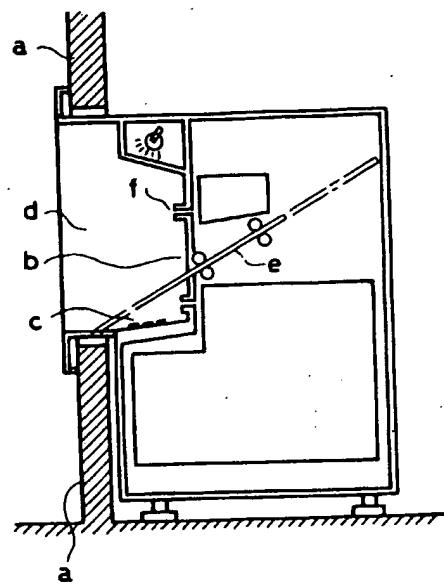
一方、言語選択ステップにおいて同時に2ヶ国語表示を行なったが、日本語の案内と英語の案内を交互に所定の時間ごとに繰り返しても同一の効果が得られる。また、音声の有無の選択を利用客のキー入力によって行なうものとしたが、装置にモード切換装置を具備し、係員の手によって音声の有無を選択する方法でも良い。たとえば昼間は音声なし、夜間は音声つきで装置を運用するなどの実際的な効果がある。さらに、モード切換装置は装置側でなく、中央処理装置側に具備し、伝送回線を通じて指示する応

第15図は電流検知回路の構成を示す電気回路図、第16図は動作を説明するためのフローチャート、第17図、第18図はCRT表示部における表示例を示す図、第19図は電流検知回路における検知レベルを説明するための図、第20図、第21図はCRT表示部における表示例を示す図である。

2…外壁、3…接客部、4…水平操作盤、5…垂直操作盤、6…キー・カード、7…CRT表示部、8…封筒取出部、9…封筒挿入口、10…通帳挿入口、11…カード挿入口、12…スピーカ孔、13…曲面シャッタ、14…異物検出部、21…カード読み取り装置、22…出金機構、23…通帳読み取り印字装置、24…封筒処理装置、34…磁気ヘッド、35…プリンタ、36…印字ヘッド、39…ジャーナル用紙、47…磁気ヘッド、58…封筒取出し板、58a…ロックづめ、70～72…封筒検出器、74…シャッタ受入機構、74…直列モータ(駆動部)、80…主制御部、80a…ブ

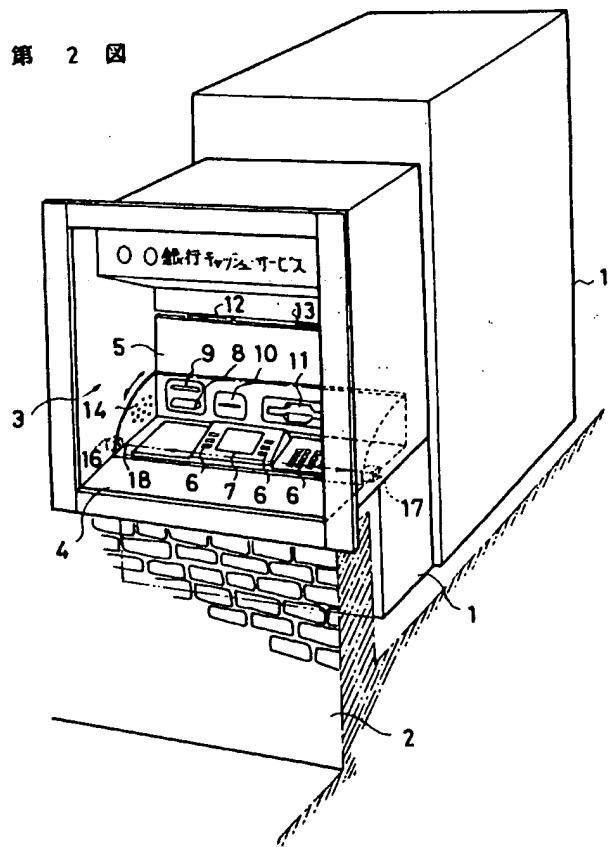
リントコントローラ、204…メモリ、205  
…メモリ、208…操作／案内コントローラ、  
209…メモリ、210…メモリ、212…音  
声合成装置、216…スピーカ、218…電流  
検知回路、219…タイム回路。

第1図

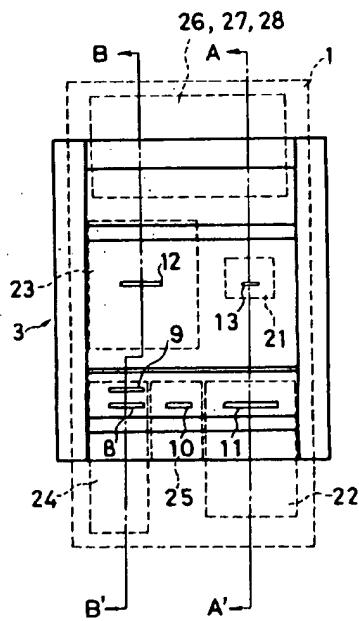


出願人代理人 弁理士 鈴江 武彦

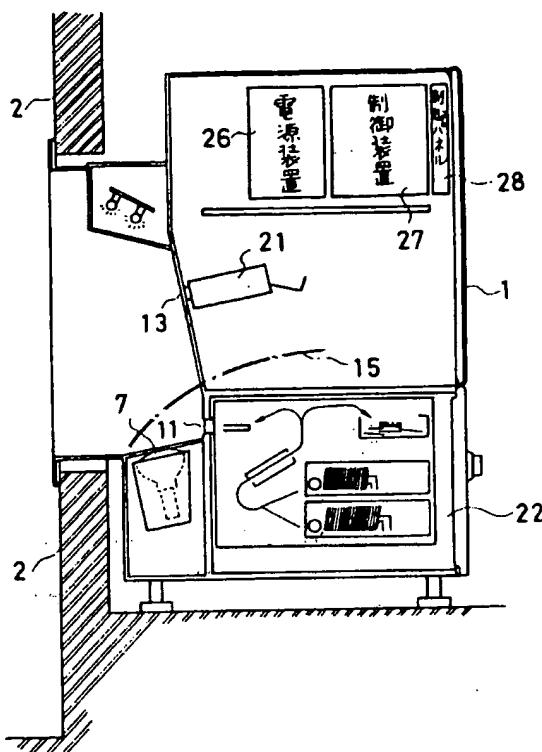
第2図



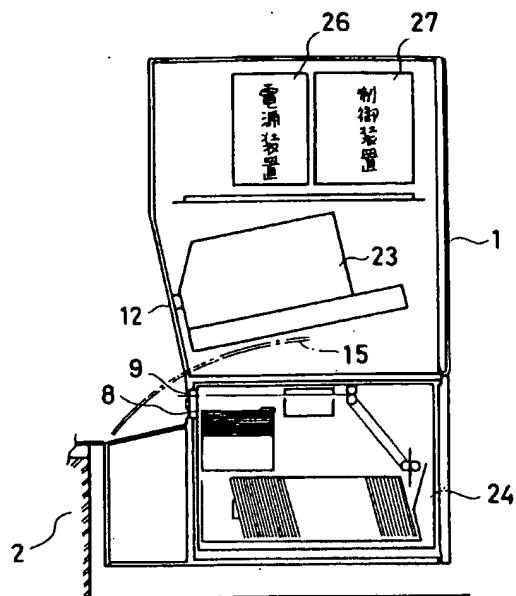
第3図



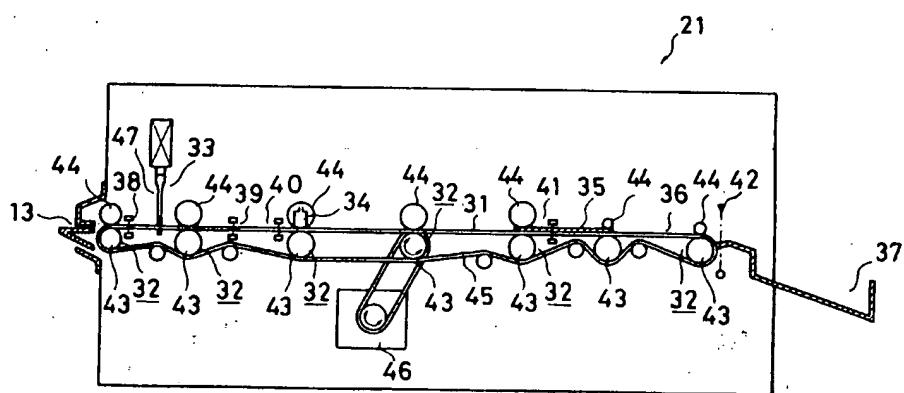
### 第 4 圖



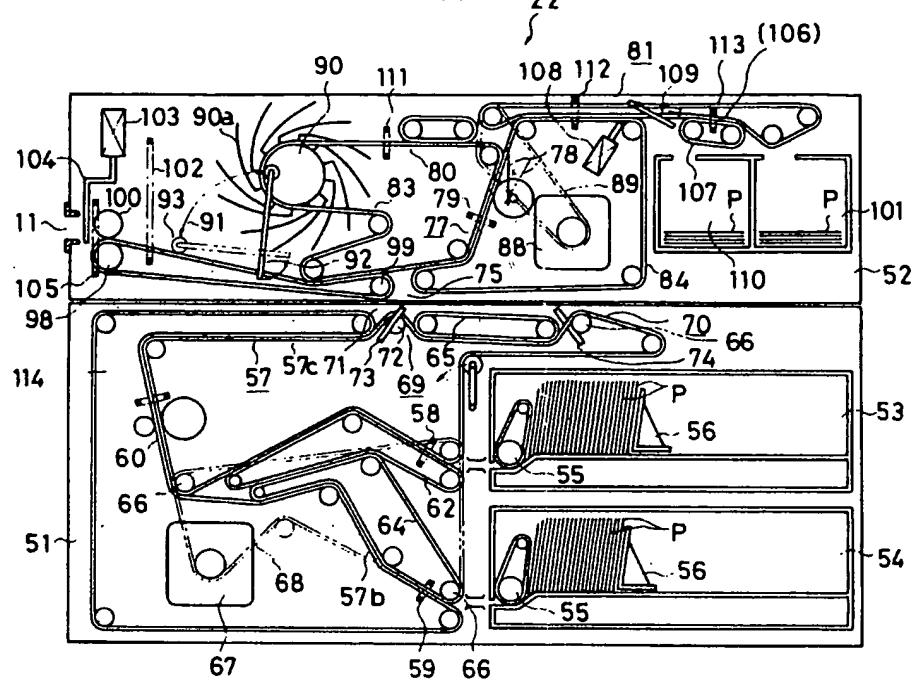
第 5 因



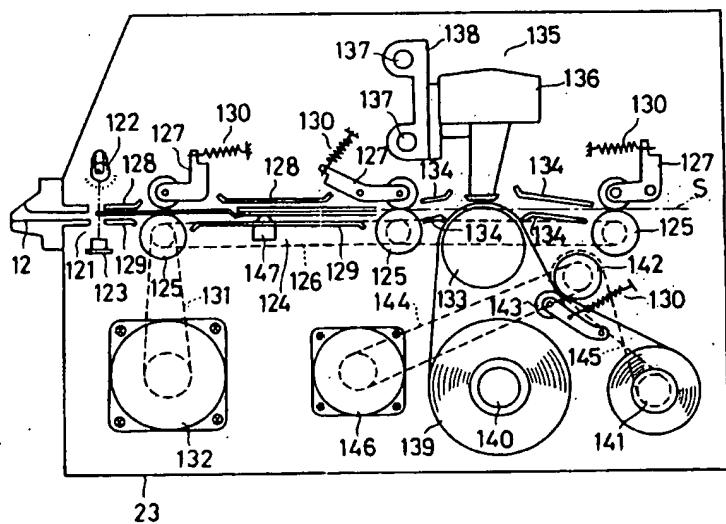
### 第 6 図



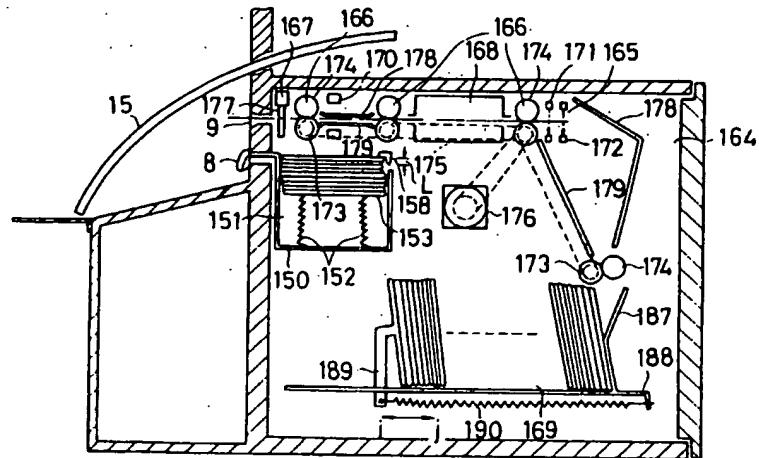
## 第 7 圖



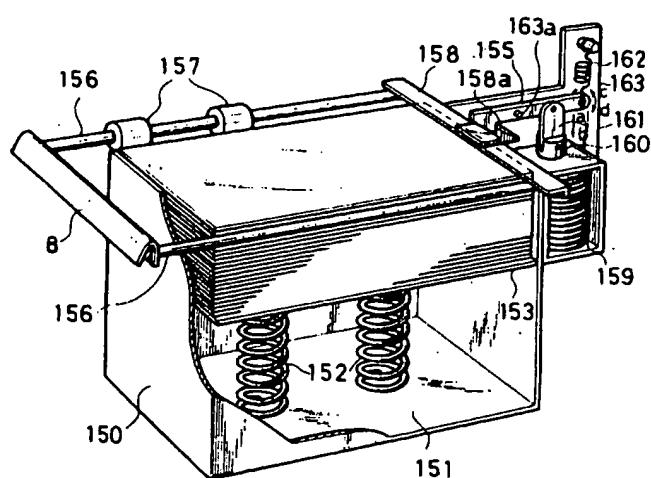
### 第 8 図



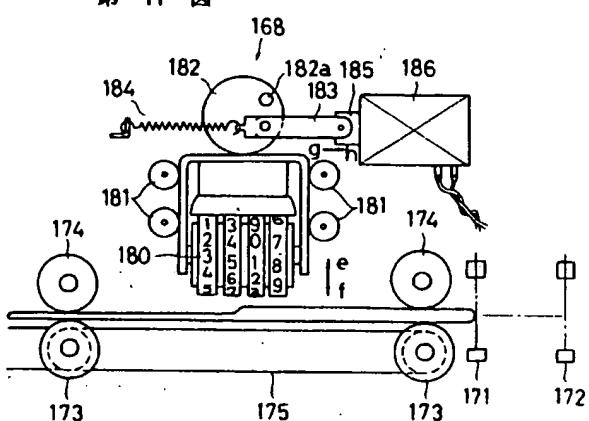
### 第 9 図



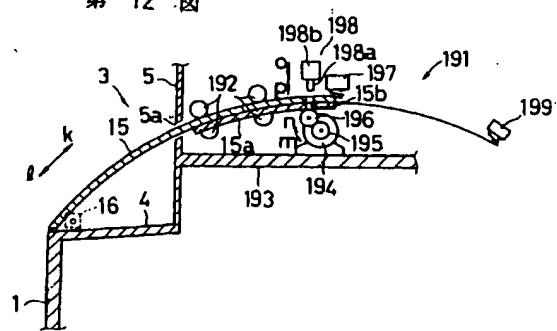
第 10 図



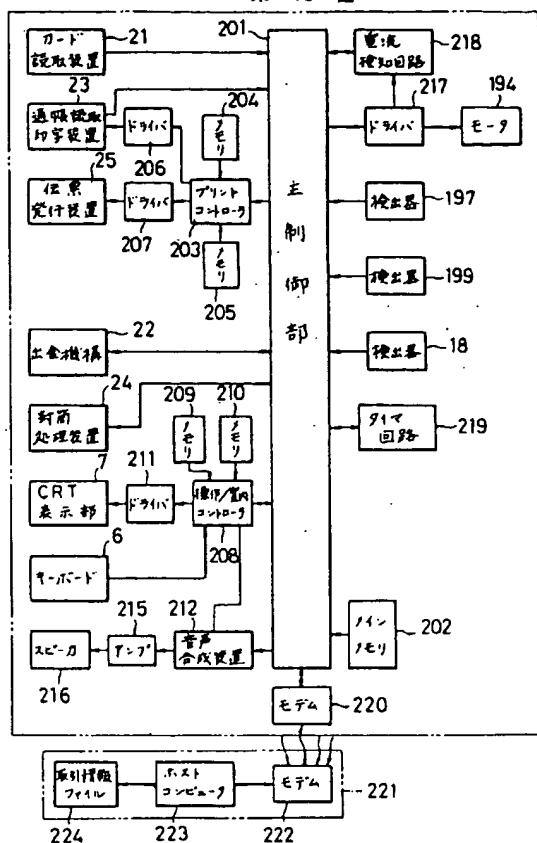
第 11 圖



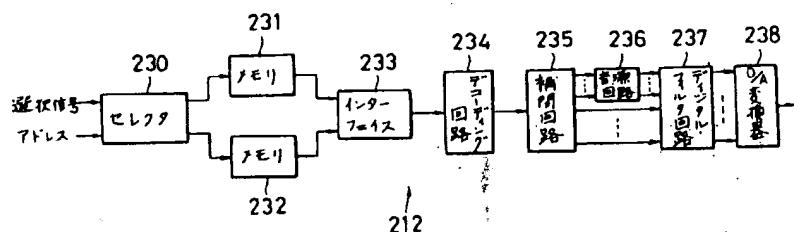
第 12 図



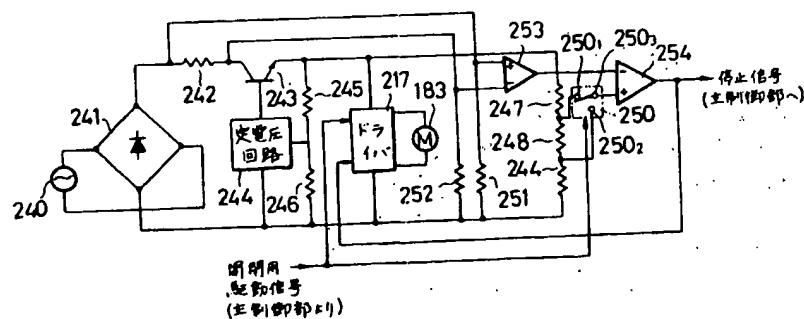
第 13 図

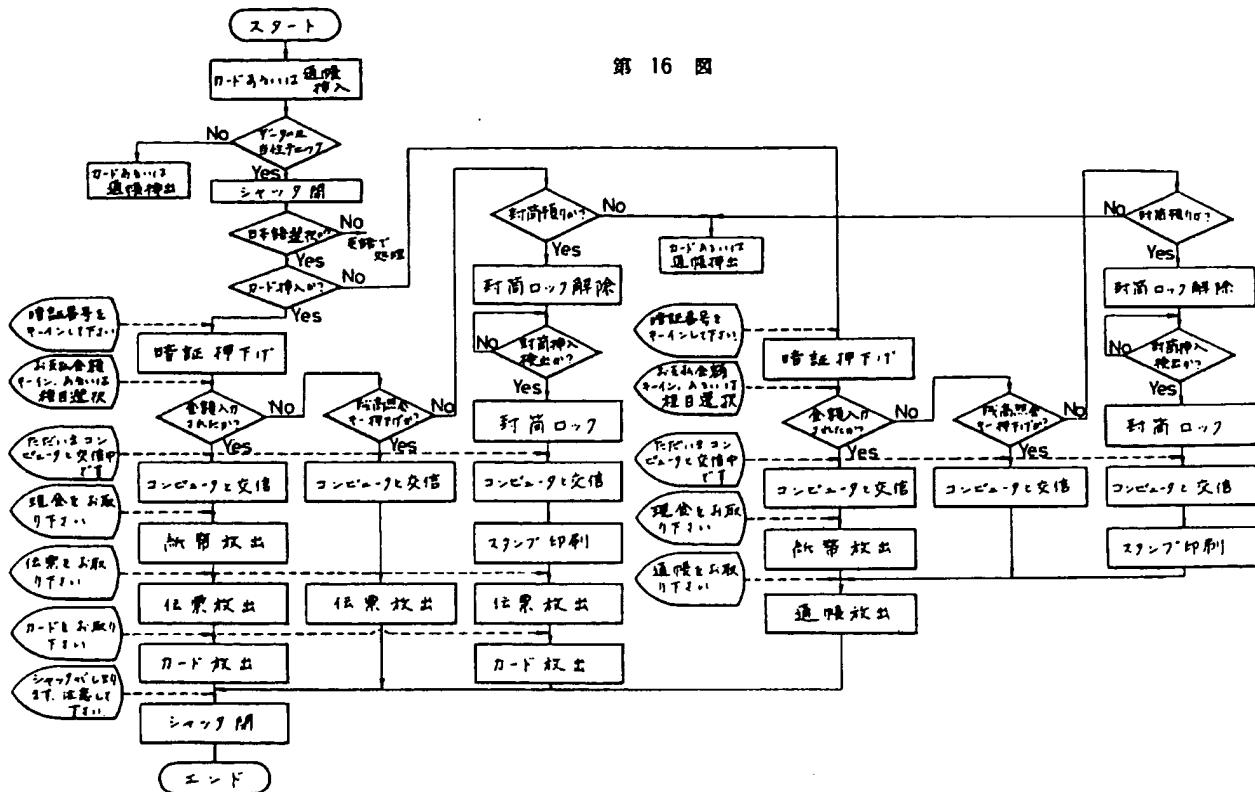


第 14 図

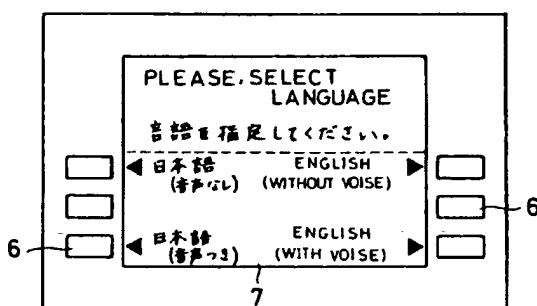


第 15 図



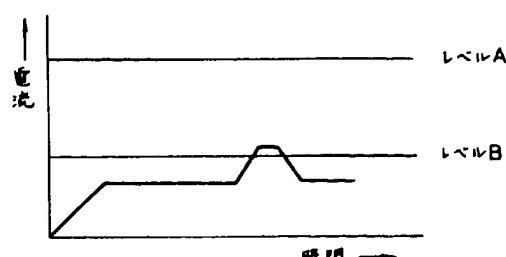
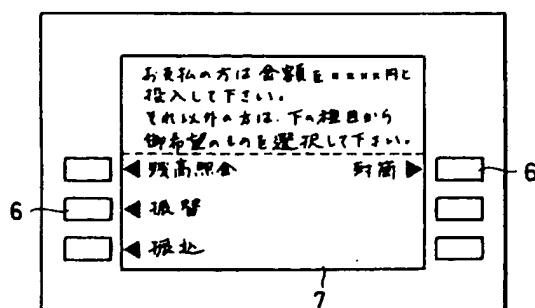


第 17 圖

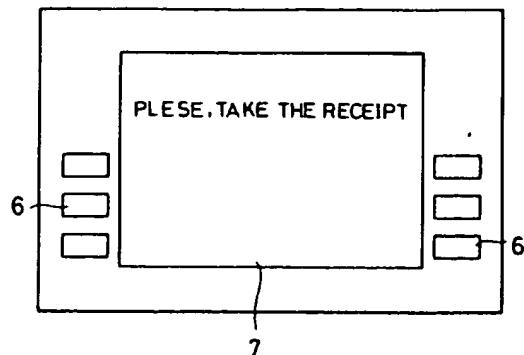


第 19 圖

第 18 図



第 20 図



第 21 図

